

基本方針Ⅰ 書籍等の充実【そろえる】

番号	項目	R3（参考）	R4	R5	R6	R7	R8（目標値）	担当課	備考	評価
1	視覚障害者センターのアクセシブルな書籍等所蔵数（タイトル数）	14,858	15,224	15,863	15,939	16,215	16,010	障害福祉課	・点字図書、録音図書（CD） ※録音図書（カセット）は含まない	
2	県立図書館のアクセシブルな書籍所蔵数（冊数）	5,590	5,762	6,137	6,324	6,461	6,015	図書館	・大活字本、録音図書、デジタイズ図書、 点字図書、点字付き絵本、LLブックの総計	視覚障害者センター、県立図書館ともに資料の所蔵数は順調に増加しました。 県立図書館における読書バリアフリーコーナー設置や、視覚障害者センターにおける体験会の実施など、収集した資料の活用について、引きつづき検討します。
3	サピエ図書館への年間アップロード数	313	318	379	348	326	346	障害福祉課	・点字データ、録音データの合算	
4	点訳・音訳ボランティア養成・研修 受講者数（延べ人数 累計）	1,536	1,536	1,570	1,570	1,590	1,600	障害福祉課 図書館	・視覚障害者センター社会参加促進事業の 「点訳ボランティア、音訳ボランティア 養成・研修」（※隔年実施）	ボランティア養成について、視覚障害者センターの養成研修に例年目標通りの参加者がありました。

基本方針Ⅱ 書籍等の提供【とどける】

番号	項目	R3	R4	R5	R6	R7	R8（目標値）	担当課	備考	評価
5	視覚障害者センターにおける点字図書年間貸出数（タイトル数）	896	882	744	850	756	1,150	障害福祉課	・点字図書の総計	視覚障害者センター、県立図書館ともに貸出数は減少傾向にあります。 貸出減少の背景にはサピエの利用拡大が考えられます。しかし、デジタル資料を利用しづらい障害当事者や、県立図書館を利用するサピエ会員外の高齢者等の需要をはかる指標として、引きつづき貸出冊数の把握は必要だと考えています。 サービスの周知による未利用者の開拓も必要です。
6	県立図書館におけるアクセシブルな書籍等年間貸出数（冊数）	5,511	5,504	5,724	4,778	3,838	5,985	図書館	・大活字本、録音図書、デジタイズ図書、 点字図書、布絵本、 点字付き絵本、LLブックの総計	
7	サピエ会員登録者数	233	249 (+16)	265 (+16)	272 (+7)	292 (+20)	270	障害福祉課 図書館	・各年度の3月31日現在の人数	目標値を超えて増加しました。 視覚障害者等のサピエ利用について、ダウンロード数等は公表されていないため、県で把握できる唯一の統計数値です。

基本方針Ⅲ 書籍等の活用支援【ささえる】

番号	項目	R3	R4	R5	R6	R7	R8（目標値）	担当課	備考	評価
8	読書支援機器に関するITボランティアの派遣回数・IT支援回数	69	73	56	89	97	84	障害福祉課	・相談内容が読書に関わるIT支援	おおむね増加傾向にあります。 読書支援機器の高度化により相談内容が多様化しています。 また、視覚障害者センターでは、より広範な相談に対応する読書バリアフリー支援員が配置されています。
9	アクセシブルな書籍等を利用するための端末機器の延べ貸出日数	1,081	2,111	1,984	1,900	2,000	1,800	障害福祉課 図書館		目標を超えて増加しました。 貸出用機器の台数や更新等に課題があります。 また、視覚障害者センターでは機器体験会を実施し、端末機器の普及をはかりました。
10	読書バリアフリー関連講座や研修の受講者数（人数 累計） ※令和4年度からの累計	155	153	254	406	480	220	生涯学習課 図書館	（例） ・図書館の障害者サービスに関する研修 ・司書・司書教諭や読書に関わる人を対象とした障害の特性へ理解を深める研修 ※総合教育センターの研修は含まない	目標を超えて増加しました。 職員・関係者向けの研修と、一般向けの啓発イベントの両輪が必要です。